

そえじま まさずみ  
**副島 正純**

パラリンピック銅メダリスト  
東京マラソン車いすレースディレクター  
1970 年生まれ。長崎県諫早市在住



**【所属先】**

一般社団法人ウィルチェアアスリートクラブ ソシオ SOEJIMA

マラソン自己最速記録：1 時間 18 分 50 秒（2011 ボストンマラソン）

2004 年アテネパラリンピックから 2016 年リオパラリンピックまで

4 大会連続パラリンピック出場

日本パラ陸上競技連盟 2017 年強化指定選手

**【主な戦歴】**

2007～2009、2011、2013 東京マラソン優勝

2004 アテネパラリンピック 400m×4 リレー 銅メダル

2007 世界陸上選手権大阪大会 車いす 1500m 銀メダル

2012 ロンドンパラリンピック マラソン 4 位（日本人最高位）

2011 ニューヨークシティマラソン優勝

2007、2011 ボストンマラソン優勝

2007、2010 ベルリンマラソン優勝

2005～2010、2013～2016 ホノルルマラソン優勝

2015 IPC 世界選手権大会 銅メダル

## 挑戦 ～今、私にできること～

パラリンピック銅メダリスト  
東京マラソン車いすレースディレクター

副島 正純

23歳の時、家業である鉄工所の作業中、鉄板落下の事故により脊髄を損傷し車いすの生活となった私は、入院中に障がい者スポーツと出会い、スポーツの楽しさに魅了され、車いすマラソンを開始しました。

2000年、世界トップレベルの車いすアスリートを目指し、本格的に競技活動を開始。2004年には、初出場となるアテネパラリンピック・マイルリレーにおいて銅メダルを獲得。その後、2016年のリオパラリンピックまでパラリンピックには4大会連続出場しています。

また、2007年からはワールドメジャーマラソン大会に出場し、東京マラソン、ボストンマラソン、ニューヨークシティマラソン、ベルリンマラソンなどの多くのマラソン大会で優勝。自分自身も世界トップアスリートとして活動していた2014年4月、一般社団法人ソシオSOEJIMAを設立し、車いす陸上体験教室や練習会を開催するようになりました。現在も、社団法人会員様の協力のもと、車いすの子ども達が継続して競技を行っていただけるように競技の指導から競技用品の提供、大会遠征費の補助など、子ども達の車いすアスリートへのチャレンジをサポートしています。

2015年からは東京マラソン車いすレースディレクターとしても活動し、車いすレースのレベルアップや車いすレースの魅力を伝えています。

現在はソシオSOEJIMAの育成選手全員と一緒に、2020年東京パラリンピックに出場することを目標に練習、指導、普及活動に励んでいます。

講演では、やんちゃだった少年時代、家業手伝い中の事故、車いすマラソンとの出会いから、パラリンピックを目指すようになった自分の「体験談」。

健常者から突然、障がい者になって自分自身がどのように変わっていったのか、その中で「気づき」。

そして、自分がどうして「挑戦」し続けているのか。挑戦し続ける自分を支えてくれる人や愛犬とのつながり。そこにある自分の思いについてお話しします。

高齢者、障がい者等が安心して日常生活や社会生活が出来るようにするためには、施設整備（ハード面）だけではなく、高齢者、障がい者等の困難を自らの問題として認識し、心のバリアを取り除き、その社会参加に積極的に協力する「心のバリアフリー」が重要であるといわれています。心のバリアフリーを進める一助になればと思います。